

アジサイよもやま話 (1)

奈良時代の万葉集に八重咲きのアジサイが詠まれています。また平安時代には、アジサイを「はなの四(よ)ひらに～」とある歌がいくつかあり、これは四枚の顎片を持つガクアジサイの可能性がります。このように、本来のアジサイの基本種はガクアジサイとされていますが、装飾花が手まり状になったホンアジサイとも呼ばれるアジサイも古くからあったとする説があり、どちらが先に人々の前に現れたのかは定かではありません。平安時代にそのアジサイを様々な漢字を当てて書き表すこともありました。ある歌人が中国の白楽天の詩にある「紫陽花」をアジサイだと勘違いをしたため、その字が現在でも使われています。しかしこれはライラックの意で、本来のアジサイは「八仙花」でした。なお現在の中国ではライラックは「丁香花」といいます。(かわはら)

ブルーベリー

ブルーベリーはツツジ科スノキ属に分類される北アメリカ原産の落葉低木果樹で、種類は200～300種あると言われています。低木なのでベランダや鉢植えでも育てやすい果樹のひとつです。ブルーベリーは虫が付きにくく無農薬でも栽培しやすいのでとても人気があります。ブルーベリーは果実だけでなく、かわいらしい花や紅葉も楽しめるので、1年を通して変化も見ることもできるのも魅力のひとつです。ブルーベリーは1品種の苗木でも結実しなくはないですが、たくさん収穫したいなら同一系統の2品種を植えるとよいでしょう。ブルーベリーには、①ハイブッシュ系、②サザンハイブッシュ系、③ラビットアイ系の3系統あり、各系統には沢山の品種があります。①は強酸性土、②③は酸性土から弱アルカリ性土(あらゆる土にほぼ対応しますが石灰など使用してアルカリ性にしないこと)寒暖には強い木ですが、長期間雨が降らず根元が乾燥してしまうと、木が弱り回復するまで期間がかかりますので、根元には木くず、稲わらなどで覆った方がよいです。初心者が苗木を枯らす要因は、花芽や実が付いていると衝動的に苗を買うこと。更に、花を咲かせて実を付けてしまうこと。植える場所(酸性土地)を考えず苗購入すること。路地植えする際肥料のほかに石灰を使用すること。苗を1本だけ購入(自家受粉不可)することなどが挙げられます。(ながやす)

フロックスについて

フロックスは種類が豊富で様々な色も楽しめます。ハナシノブ科フロックス属原産国は北アメリカ、シベリアです。別名、花魁草、キキョウナデシコなど、種類によって呼び名が異なります。日本に入って来たのは江戸時代中期ごろ、香りは花魁の女性がつける白粉に香りが似ている事が由来しています。花期は種類で異なりますが6月から10月。お盆の頃にも咲くので盆花とも呼ばれています。花の色は赤、オレンジ、ピンク、黄白、紫青などカラーバリエーションが豊富で60種類以上ある様です。花弁は5弁複数密集して咲く花は非常に美しくこんもりとして見えます。風通しの悪い場所ではうどん粉病も発症しやすいので、早期予防対策をした方がよいと思います。(たかはし)

今月の便り



アリッサム

今年からバラ園入り口の右横に、駐車場と並行した新しい花壇ができました。バラと一年草のミックスボーダー花壇です。小輪房咲きのバラと一緒に植えられている一年草の中で地面を覆うように白い小花を咲かせている株がアリッサムです。ふわっとした優しい感じの花壇になるのでおすすめです。アリッサムは、正確にはスイートアリッサムといいますが、その中でも特に、耐寒性、耐暑性に優れた改良苗はスーパーアリッサムという名前で春先に苗で売られています。花いろは何色もありますが、育ててみると一番強健なのは白花のような気がします。酸性土壌を嫌うので、有機石灰や苦土石灰などで土壌の酸度調整をしてから植え付けてください。春一番に花を見なくて良いなら、霜の心配が無くなった庭に苗を植え付ける頃に直播でも秋まで楽しめます。アブラナ科なのでナガメという赤に黒い模様のカメムシの赤ちゃんがつくことがあります。葉っぱにぼちぼちが出て白っぽくチリチリしてきたらナガメを疑ってください。成虫はキャベツ類などもっと分厚いアブラナ科の葉を吸汁しますが、体長一ミリほどの赤ちゃんは柔らかいアリッサムの葉が大好きなのです。花が咲き上がってきて下の方に種子がつくようになったら切り戻してください。生育温度は7～20℃前後なので夏は生育が止まります。(きのした)

リシリソウ

「利尻草」は、礼文島と利尻山上部の草地に生える背丈20cmほど植物で、名前は「リシリソウ」ですが、利尻では少なく、礼文島で見かけることが多いそうです。しかし、最初に利尻で発見されたことから、この名がつけました。細長い葉はスゲに似て目立ちませんが7～8月、茎の上部に直径が2cm弱の小ぶりの花を総状花序（円錐形または円柱形に並び、下から咲いていく）に10個前後を付けます。夏に咲かせるクリーム色の花の基部は緑色をおび、分泌物を出す腺体（せんたい：多くは匂いを持つ物質や粘液などを分泌する）と呼ばれる器官があります。実をいうと昨年から育てていて花を見ることができそうなのでとても楽しみにしています。まだ利尻島も礼文島も行ったことがないのですが「花の浮島」と呼ばれる島にぜひ訪れそれぞれの島の固有種を目にしたいと思っています。(いとう)

庭先にブルーベリー木育成の3つの落とし穴

ブルーベリーの苗木を買いに行くと、たくさんの花が咲いていたり、実が付いている木を選んで購入していませんか。花や実を心を奪われて衝動買いはいけません。そこに落とし穴があります。ブルーベリーの苗木は、殆どが「挿木」で、元となった「母木」の生育サイクルになっているので、苗購入時に花が咲いていたり、実が付いたりしているので、その年に収穫できてしまうのですが、ポットから路地へ移植して、根がしっかり張らないうちは、苗木に負担をかけないために、花や実は全部取ってしまった方が良いということになります。一つ目の落とし穴は、根がしっかり張っていない苗木のうちに収穫するとブルーベリーの木に大きな負担とダメージを与え、翌年には枯れてしまうということが多くあります。1年目は涙を吞んで、蕾・花・実は全部取った方が木に優しく、翌年からたくさんの実を付けてくれます。種から育てたブルーベリーが1年目から花を咲かせ実を生らすことはありません。二つ目の落とし穴は、ブルーベリーは自家受粉しません。1本だけ植えても、少量の実はなる時がありますが沢山収穫することはできません。必ず同一種の別の品種を近くに植えることが必要です。三つ目の落とし穴は、ブルーベリーの木は基本的に酸性土を好み、石灰などを投入したアルカリ土では育たず、枯れてしまう場合があります。弱アルカリ土でも育つ品種もありますが、一般的な石灰を入れた畑は中性にしてあるはずなので土の改良が不可欠です。

チョット
いっぷく

ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第九十四回

ハイブリッドムスクローズ

エルムスホルン

Elmshorn

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：1950 年以前

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き

交配：Hamburg(HTCI) xVerdun(Pol)

夏の暑さが厳しくなり、人もバラも涼を感じたくなる季節になりましたね。昨年降らなかった雨も今年はそこそこ降り、病気への対策や雨後の花がら摘みに追われている方も多いのではないのでしょうか。

今回は、ドイツのコルデス社より古い品種、エルムスホルンを紹介したいと思います。エルムスホルンは樹高が最大 305 cm 程度、幅は 120 cm 程度になる大き目のバラです。しかし、高さに関しては、当園では凍害からの切り戻しで 180 cm 前後くらいにとどまっています。

花色は明るめの赤でややピンクより、大き目の小輪八重咲の花が咲きます。うどん粉病にはかからないものの黒星病にはかかり、毎年半分程度、葉を落としてしまいます。

受賞歴としては、1950 年に ADR 賞を受賞しております。しかし、現在の ADR リストからは外されてしまっています。ADR の昔のリストをさかのぼると、エルムスホルンが一番上に出てくるので、もしかすると ADR 最初の受賞花なのかもしれません。まだ完全無農薬を評価基準にしていない時代の ADR 賞なので現代の受賞花と比べればやはり耐病性に関しては 1, 2 ランク落ちているような印象を受けます。

剪定はハイブリッドムスクなので竹串程度で剪定します。雪囲い時に PP 袋で囲ってはいますが、上部 1/3 程度は凍害で枯れこんでしまうので、芽の位置にだけ注意して凍害の切り戻しをすれば剪定ぼく仕上がるかもしれません。

交配を辿っていくと、同じくコルデス社から発表されている赤 HT の Hamburg とフランス作出、濃いピンクのポリアンサ Verdun の子どもになります。こちらどちらも当園では栽培しておりませんが、写真で見るとエルムスホルンの花色は両親の色を混ぜたような色になっています。

ハイブリッドムスクの血は Hamburg の親、Eva からきているみたいです。これもコルデス作出ですね。

エルムスホルンという名前ですが、ドイツの村の名前が由来となっております。コルデスが最初に農園を起こした時の場所がこのエルムスホルン村になります。会社に関しては、コルデスⅡ世になった時に別の場所に移してしまっているものの、コルデス社にとっては思い出深い村の名前ですね。第三世代の Reimer Kordes が、創業の地の名前が入ったバラをつくったということで創業者へのリスペクトと会社への愛が感じられますね。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●8月6日(土) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう

料金: 2,000円 定員: 18名 講師: 君島 信博さん 草つ月

●8月28日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理

料金: 無料 定員: 18名 講師: 川原 元信さん フラワーマスター

~9月1日から受付開始~

●9月23日(金・祝) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方

料金: 無料 定員: 18名 講師: 伊藤 幸秀さん 日本自然保護協会

●9月24日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑥ 来年に向けての準備

料金: 無料 定員: 18名 講師: 古舘 杏奈さん ローズグローワー

●9月25日(日)・10月1日(土) 13:00~15:00

バラ管理スタッフのローズツアー・秋

料金: 無料 定員: 18名 講師: バラ園スタッフ

●10月2日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント

材料費: 1,000円 定員: 18名

講師: 大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話: 0126-25-6111 ホームページ: <http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。